

## 三井住友建設が25/3期業績予想を修正—財務余力が低下、格下げ圧力強まる

以下は、三井住友建設株式会社（証券コード：1821）が25/3期業績予想の修正を公表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は本日25/3期業績予想の修正を公表した。修正後の営業損益は10億円の黒字（前回予想：125億円の黒字）、親会社株主に帰属する当期純損益は80億円の赤字（同：45億円の黒字）である。要因は、これまで複数回にわたり工事損失を計上してきた国内大型建築工事において追加の工事損失（約131億円）を計上するためである。当該工事は26/3期に引き渡し予定であり、当社は今回の工事損失は当該工事の竣工までのおおむね確定したコストを反映したものであると公表している。
- (2) 当該工事の影響を除けば、一定の利益を確保している。また、選別受注の徹底などにより受注時の工事採算性は良化しており、当該工事の引き渡し後には、利益回復していく蓋然性が高いとJCRでは考えている。ただし、当該工事にとまなう最終損失の計上によって自己資本は減少しており、従来と比べて財務余力が相当程度、低下している。こうしたことから、想定外の事象の発生などにより、今後、財務余力が一段と低下した場合には、格付を見直す可能性がより高まる。JCRでは、当該工事などを注視しながら、利益回復と財務改善の進捗を確認していく。

（担当）窪田 幹也・下田 泰弘

### 【参考】

#### 発行体：三井住友建設株式会社

長期発行体格付：BBB+

見通し：ネガティブ

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル